

報新事薬

平成24年（毎週1回木曜日発行）昭和33年8月4日 第三種郵便物認可・薬事新報社© 2月16日 第2721号

SMONAセミナー コミュニケーション研修

エスエムオーネットワーク協同組合（SMONA）は1月29日、日展会館でSMONAセミナー「ドラマチックコミュニケーション研修—コミュニケーションが変わればドラマが変わる」を開催、53名が参加した。

講師はヒデキバレイ主宰、㈱MANY ABILITIES 代表取締役の野原秀樹氏。「ドラマチックコミュニケーション」は演劇、パレエ、インプロ（即興）のエッセンスを活用し、非言語的なスキルを高め、感性を磨き、人とふれあう楽しさを体感しながら個性を引き出す研修で、多くのメディアで取り上げられている。

セミナー開催に先立ち、黒野富男SMONA事務局長・教育研修委員長が

薬事新報 No. 2721 (2012)

20 [5・ニュース]

開会挨拶。必要な能力について「CRC（職業人）にとつて必要なのは実務能力と人間的魅力の2つ。目に見える能力はもちろん、どちらかというところに出ない水面下の能力が大切。CRCには、実務経験の深さとコミュニケーションスキルが求められる。自らの立場に加え患者の立場に配慮すること（やわらかな1・5人称）も重要。例えばインフォームド・コンセントは医療従事者からいえば「説明と同意」となるが、患者からしたら「理解と選択」。中国語では「知情同意（情報を知って同意する）」ということで、より患者に近い言葉といえる」と述べた。

野原氏は研修のねらいを「コミュニケーションの意識改革が、利益創造、生産性の向上、結束力・協調性を実現し、さらには自己理解、他者理解が自分自身の本質力（個性）を高めるということを研修から気付いて、日々の業務に活かしてほしい」とした。私・あなたロールプレイング、YES・NOロールプレイングなどを通じ、コミュニケーションについて学んでいった。ドラマチックコミュニケーションについてはMANY ABILITIES社のホームページ（<http://many-abilities.com/>）でも確認できる。

研修は次の5つを軸に進行。
① コミュニケーションの基本…伝える、受け止める、判断し行動する。

「意識改革」の重要性を理解する。

② 2つのコミュニケーション…2つのコミュニケーションは言語的なバーバルコミュニケーションと、非言語的なノンバーバルコミュニケーション。非言語の重要性を理解する。

③ 好感コミュニケーション…傾聴・ストロークの重要性を理解する。プレゼンススキルを身につける。

④ 自己表現と相互理解…インプロ（即興）を体感し自らの殻を破る。互いを認め合い理解し合うことの重要性を体感する。感性を刺激し、想像力、察知力、判断力を高める。

⑤ 振り返りと行動目標の設定